

平成24年度（第57期）事業報告

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

1. 会員の異動状況

会員の種類		本期末会員数	前期末会員数	差引増減
名誉会員		11	10	1
正会員		2356	2386	△30
学生会員		154	124	30
維持会員	S級	2	2	0
	A級	11	11	0
	B級	6	6	0
	C級	10	10	0
	D級	15	15	0
	E級	111	109	2
	合計	155	153	2
公共会員		12	12	0

2. 事業の状況

(1) 行事

行事名	講演件数	参加者数	期日	場所
第3回日中トライボロジー先端フォーラム	21	73	平成24.04.15-17	名古屋
トライボロジー会議 2012 春 東京	209	789	平成24.05.14-16	東京
第55期通常総会・特別フォーラム	1	189	平成24.05.15	東京
第5回トライボロジーテーマ別基礎講座	4	42	平成24.06.28	東京
第43回トライボロジー入門講座	8	93	平成24.07.19-20	東京
第5回トライボロジースキルアップ講座	4	40	平成24.10.4	東京
トライボロジー会議2012秋北海道室蘭	219	450	平成24.09.16-18	室蘭
第5回トライボロジー入門西日本講座	8	51	平成24.11.15-16	京都
第3回トライボロジー秋の学校	5	71	平成24.11.30-12.1	愛知
トライボロジー先端講座	4	12	平成25.03.01	東京
トライボロジー懇談会	4	88	年4回開催	東京他

(2) 会誌

会誌は「トライボロジスト」を12回発行。ページ数本文837ページ(57巻4号～58巻3号)。特集として「リファレンス オブ リファレンス-2012年版-(2)」,「機械的摩耗メカニズムの解明に迫る」,「潤滑グリース」,「トライボロジストが知っておくべき分析技術」,「マイクロ・ナノ工学と

トライボロジー」,「低燃費・クリーンな排出ガスを目指すエンジンのトライボロジー」,「ナノカーボン材料とトライボロジー」,「グリーントライボロジー(1)」,「グリーントライボロジー(2)」,「スポーツとトライボロジー(3)」,「摩擦の科学：低炭素社会実現に向けて」を刊行した。

(3) 研究会

研 究 会 名	種 別	回 数	場 所
トライボロジーロードマップ	第1種	4	東京
自動車の省資源・省エネルギー	第1種	4	東京、愛知
添加剤技術	第2種	3	東京
固体潤滑	第2種	5	東京、京都、三重
グリーンス	第2種	4	東京、兵庫
転がり軸受寿命	第2種	1	東京
エンジン潤滑	第3種	4	東京
転がり疲れ	第3種	2	東京
シール	第3種	2	大阪、愛知
鉄道のトライボロジー	第3種	1	東京
ファイル記憶のトライボロジー	第3種	2	東京、神奈川
摩 耗	第3種	2	神奈川、茨城
メンテナンス・トライボロジー	第3種	1	東京
塑性加工のトライボロジー	第3種	3	東京、神奈川
トライボケミストリー	第3種	2	東京、京都
自動車のトライボロジー	第3種	4	愛知、福岡
アルミニウムのトライボロジー	第3種	3	愛知、大阪
高分子材料のトライボロジー	第3種	3	東京
トライボ材料の環境適合性	第3種	1	東京
超を目指す軸受技術	第3種	3	京都
スペーストライボロジー	第3種	1	東京
エコマシニングとトライボロジー	第3種	1	愛知
食品工場用潤滑油	第3種	1	東京
分子シミュレーションのトライボロジーへの応用	第3種	2	東京、福岡
変速機のトライボロジー	第3種	4	東京、静岡
合成潤滑剤の化学	第3種	2	東京
機能性コーティングの最適設計	第3種	2	愛知、北海道
テクスチャリング表面のトライボロジー	第3種	3	大阪、茨城、神奈川
エロージョンとその応用	第3種	2	愛知、福井
境界潤滑	第3種	4	東京、北海道、愛知、神奈川
日本海トライボロジー	地区	1	富山
北海道トライボロジー	地区	2	北海道

(4) 主な取り組み

一般社団法人に即した学会の取り組みとして、まず、コンプライアンスに関する規則等の整備を行った。

事業としては、トライボロジー会議、各種講座、研究会活動等や、トライボロジスト誌、**英文オンラインジャーナルの発刊**、トライボロジーの技術向上や産業への普及活動を通じて、社会貢献を進めた。

学会会員管理業務、論文投稿の編集・校閲作業や学会アピールのツールとしてのホームページについて、新しい情報システムを立ち上げ、新しい会員番号やパスワードを発行して、会員へのサービス向上と情報のスピーディな提供、情報共有と公開を図った。

トライボロジースーパーバイザーを拡充し、トライボロジー相談室の活用と普及を進め、トライボロジー技術を一般に広めるとともに、産業におけるトライボロジー技術を高めた。

第3回日中トライボロジー先端フォーラムを開催し、アジアにおけるトライボロジー技術のレベルアップを図るとともに、日本のリーダーシップ発揮に努めた。

ISO18436-4 に準拠した機械状態監視診断技術者（トライボロジー）の資格認証を日本機械学会と連携して継続し、カテゴリⅢの資格試験に向け準備した。